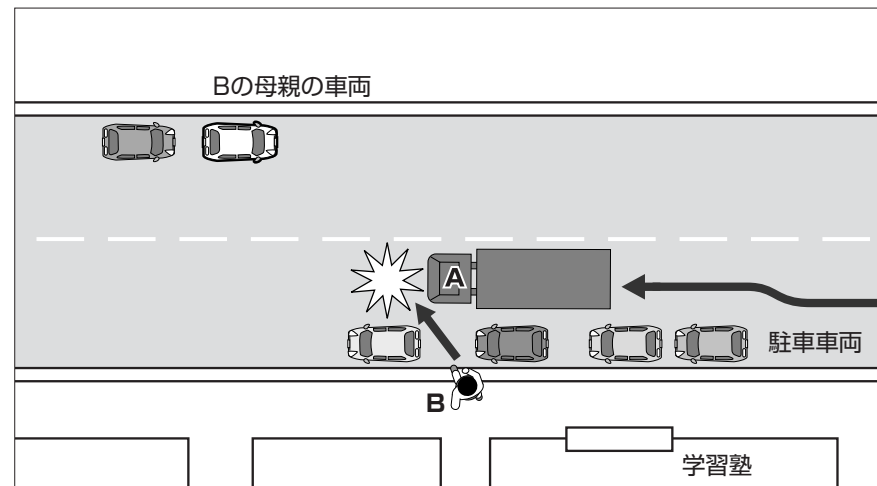


職場における交通安全指導

Part 88

■ 中型貨物車が駐車車両の間から飛び出した小学生に衝突



■ 事故の概要

● 発生状況

日時：平成22年4月某日 午後7時40分頃
天候：晴れ

● 道路状況

片側1車線の市道

● 事故の当事者

運転者 A (中型貨物車)：41歳、男性
被害者 B (歩行者)：8歳、小学生男児

● 被害状況

A：キャビン前面小破
B：頭部打撲、左上腕打撲等 (全治3か月)

事故状況

Aは、トラック乗務経験12年のドライバーで、これまで4社の運送会社に勤務してきた。

勤務先を変えるきっかけは、給料や労働条件の他、業務中に起こした事故も原因の一つであった。現在の会社は、勤務して3年目になるが、事故当日は午前8時に乗務し、川崎市内の物流センターで雑貨品を積み込み、渋滞する中、配送が終了したのは午後7時を過ぎていた。

Aは、空荷となったトラックを営業所へ戻すため帰路についたが、時間の遅れを取り戻そうと無意識のうちに速度を上げていた。

営業所まで10分程の駅前商店街は、夕方になるといつも学習塾や予備校への子供の送迎車両が増え、片側1車線道路には何台もの車が駐車され、車の流れが悪くなっていた。

事故当時もAの進行する車線には4台の車両が縦列駐車し、その先の対向車線にも数台の車両が駐車していたが、対向車両は無かったので、「今のうちに早く行こう。」と加速して駐車車両の側方を通過しようとした。

突然、駐車車両の3台目と4台目の間から飛び出してくる黒い物に気づき、急ブレーキを掛けたが間に合わず、飛び出してきたBをはね飛ばしてしまった。

Bは、学習塾での授業を終え、対向車線に駐車中の母親の車両を見つけ、急いで道路を横断するところであった。

この事故の原因は、Aが駐車車両の側方を通過

する際、歩行者の飛び出し等を想定し安全な速度で通過しなかったことにあり、その背景には、「対向車両が来ないうちに早く行こう。」という急ぎの心理が作用していたと考えられる。

安全指導

① プロドライバーとしての自覚

事業用トラックは、荷主から依頼された貨物を目的地まで安全・確実・迅速に運ぶことが使命であり、安全運転知識の習得と実行はプロドライバーとしての基本といえます。

Aは、過去にも交通事故を起こした経験がありますが、事故を起こしたら、その時の状況を振り返り、原因をよく分析し防止策を考えて、それを実行することが大切です。

Aがプロドライバーとしての自覚を持って行動していれば、今回の事故は未然に防止できたものと考えられます。

また、運行管理者は、採用時の運転経歴証明等の資料から、事故の傾向や、採用後は適性診断を受診させるなどして運転適性を把握し、機会あるごとに適切な安全運転対策をドライバーに指導することが重要です。

② 危険を予測した運転

駐車車両の側方を通過する際は、できるだけ車両との間隔を空けて進行し、その周囲に十分注意することが大切です。特に子供がいるような場所を通過する場合は、速度を落とし、いつでも停止できるような状態で走行することが必要です。

Aは、事故地点付近には学習塾や予備校がいくつかあり、この時間帯には子供を送迎する車両が多く駐車することを知っていました。当然、子供達の乗降や道路の横断を予測し、細心の注意を払い運転すべきでしたが、「対向車両が来ないうちに通過しよう。」と先を急いだことで安全確認が疎かになり、結果としてこの事故に結びつきました。

ドライバーは平常心を保ち、先を急ぐことなく安全を最優先し、危険を予測した運転を行うことが重要です。

③ 子供の行動特性

小学校低学年くらいまでの子供の心身の能力は未成熟で、視野（人が目の位置を変えずに見渡せる範囲）は、大人の約200度に比べ約90度と半分程度の範囲しかなく、左右方向の安全確認が不足がちになることは否めません。

また、子供の場合、「信号が青になると周囲の安全確認をしないで横断する。」「嬉しければしゃいで道路に飛び出す、叱られるとしよげて周囲の様子が目に入らない。」「大人と一緒にいると自分で安全確認をしない。」といったように、物事を単体で考え、気分によって行動が変わり、大人に依存しやすい等、その行動の中には危険なものが少なくありません。

特に、自分に興味のある対象を見つけると、たとえ車両が接近していても、それに向かって飛び出す傾向があります。

たとえば、向かい側の歩道に母親や友達の姿を見つけると、道路を渡ることで頭がいっぱいになり安全を確かめずにいきなり飛び出します。今回の事故も、まさにこの事例に当てはまるものでした。

ドライバーは、このような子供の行動特性をよく理解し、たとえ子供が危険な行動をしても的確に安全に対処できるよう日頃から心構えを持って運転することが大切です。

